



音羽中学校
学校だより

OTOSEMI 音翡翠

令和6年4月8日(月)
第2号



令和6年度入学式・始業式 4月5日(金)

85名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。三年間は本当にあつという間ですが、多感な時期であり、一喜一憂することも多いかと思えます。しかし我が子を信じ、しっかり見守ってあげてください。本校では「自分と向き合う力」「自分を高める力」「他者とつながる力」の三つの「非認知能力」群を伸ばす教育活動を展開してまいります。そしてお子様の「成長と幸せ」を共通の願いとし、家庭と学校とが連携し、「チーム音羽」で取り組んでいきたいと思えます。どうぞよろしく願い申し上げます。



【4/5 メモリアルロードより】

さて、新入生の皆さん、本校は、豊川市内で一番小さな中学校ですが、小規模校である分、皆さんの活躍の場もたくさんあります。この音羽中学校で勉強、生活できることを誇りに思い、中学校生活を満喫してほしいと思えます。不安なこともあるとは思いますが、二年生、三年生の先輩たちは、とても優しく、よい先輩たちばかりです。早く中学校生活に慣れてくださいね。二年生、三年生の皆さん、進級おめでとうございます。新しい学年となり、気持ちも新たに今日を迎えたことと思えます。

さて、先ほど述べた非認知能力の中で大切なものに「自信」があります。皆さんの中には以前から、あまり自分に自信がない、勉強も運動も他人よりできるほうではないし、自慢できることもあまりないといった子がいるのではないのでしょうか？ 残念ながら、自信は自然と身につくものでもなければ、誰かが授けてくれるものでもありません。服やアクセサリーのように、どこかで売っているものでもありません。自分の行動によって手に入れるしかないのです。しかし、近道はないですが、意外なものが鍵になります。実は自信と約束には密接な関係があります。

私たちは、友達、親、先生など、いろいろな人たちとさまざまな約束を交わします。その約束を守るには、苦労や犠牲を伴うことが多いはずですが、それにも関わらず、私たちは約束を守ろうとします。なぜだかわかりますか？ 一番の理由は、メリット、つまりよいことがあるからです。約束を守ることによって、私たちは相手からの信頼を得ることができます。好感度も上がります。そして、高い評価を得ることもできるのです。このように、自分にとってプラスになることのほうが多いからこそ、私たちは約束を守ろうと努力するのです。もちろん約束を破れば、信頼、好感度、評価のすべてが、がた落ちしてしまいます。

先ほど挙げた約束を交わす相手の中に、ある大切な人が含まれていなかったのですが、気づきましたか？ それは「自分」です。約束には「他人との約束」だけでなく、「自分との約束」もあるのです。「自分との約束」とは、例えば「今日は家に帰ったら、ゲームをする前に、まず真っ先に宿題を終わらせよう」といったよう

な自分でやると決めたことです。「自分との約束」も「他人との約束」とまったく同じ現象が起こります。つまり、「自分との約束」をしっかりと守れば、自己信頼(これこそが「自信」です)、そして自己評価や自己肯定感も上がります。その一方で、「自分との約束」を破ると、これら三つとも下がってしまいます。

友達に約束を破られたら、がっかりしますよね。その人のことを、ちょっと苦手になっちゃいますよね。ということは、自分との約束を破ってしまうと、自分のがっかりしてしまいます。そして、自分のことが、ちょっと嫌いになってしまうのです。あなたは常に、あなた自身を見えています。巧みな嘘や言い訳を並べれば、他人を欺くことはできるかもしれませんが、決して自分自身を欺くことはできません。だから私たちは、自分自身と交わした約束とも真剣に向き合い、それらを一つ一つ着実に守っていくことが大切です。それが自信や自己肯定感に直結するからです。特に日頃「自信がない」を口癖にしている人は、他人との約束と同じくらい自分との約束を大切に扱い、しっかりと守るように心がけてみてください。

それとは真逆で、せっかく身につけた自信を打ち砕く行為があります。それが相手を否定したり、人をけなしたりといった、最近言われる「ディスリ」です。ディスる人の特徴の一つ目は自分に自信がないということです。自信がもてないからこそ、他人を馬鹿にすることで自我を保つしかないのです。他人をディスることで、自分はまだ見下される側ではないと思いたいのです。二つ目は努力して自分を高めようとしません。努力が苦手だから、人をけなすことで自分のポジションを確認するしかないのです。他人を下に見れば、自分が上がらなくても問題ないと思えるのがその心理です。しかし、これらの行為は全く成長の兆しがありません。決して「ディスリで逃げない」ことを心にとめてください。

それよりぜひ「褒め上手」になってみてください。褒められてうれしかった経験が皆さんにもあるはずですよ。褒め言葉には、相手を尊敬したり、がんばりを認めたり、いたわる気持ちも込められています。褒められると、自分を認められたようでホッとしたり、またがんばろうという気にもなりますよね！その姿を見て褒めた側もうれしくなるものです。褒めることは、人とのコミュニケーションをよりよくする魔法の言葉です。

この三点を年度当初の目標にしてみてください。そして、コロナ禍で学んだ人や物事への感謝の気持ち、人と人とのつながりの大切さなどを忘れず、主体的に物事に取り組み、希望あふれる一年にすることを期待します。



生徒会副会長 神谷悠太さんより、新入生代表 都築佑磨さんへ入学祝い品として「校章」が贈られました。



生徒会長 平倉達哉さんが「新たな仲間と絆を深め合い、最高の三年間にしていきたいと思います」とこれからの目標を示す歓迎の言葉を贈りました。



新入生代表 山下小夜湖さんからは藤井聡太八冠の将棋を極め、その世界で生きていく覚悟から、強い意志をもって挑戦していきたいと入学の言葉で語ってくれました。